

学校名	松本養護学校信濃学園分室	
ホームページURL	児童・生徒数 17 名	
(1) テーマ 「交流」(仮称) テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・ <u>学校</u> ・ その他() 該当学年 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・小中学校の児童生徒や地域の人々との交流を通して相互に理解しあい、豊かな人間関係を育てる。 ・さまざまな生活経験、社会経験を深め、社会生活への適応力を育てる。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・各部独自で、あるいは全校で小中学校等と相互に行き来して交流する。 活動内容(すもう、水泳、遊び、そり、焼き芋、一日あるいは半日を共に生活する。 調理、遠足、食事) 時数(42)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・交流係を推進役に、全校体制で取り組む(各部独自のものは各部で)。 ・子どもの動きに危険が常時つきまとうので、全職員(部職員)で個々の子どもの担当を決めて気を配る。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・本校は領域・教科を合わせた指導形態をとっているため、時数及び教科との関連については特に留意していない。しかし、より質の高い交流を目指して、事前準備(打ち合わせ、資料提供や説明会による事前学習の依頼等)に意を注いでいる。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・「意味のある交流をする」ことを基本理念に、交流の都度子どもの様子を観点に沿って記録し、職員会でも扱い、相手校とも反省・感想を交換し、次の交流が深まるようにしている。		
(8) 成果と課題 ・回を重ね多くの人と触れ合うことで、他人を意識していると思われる行動が少しずつ見られるようになってきた。友達と遊び興じることができるようになってきた子どももいる。 ・相手校の児童生徒から与えられて関わりをもつことから一歩進んで、本校の子どもが主体的に関わっていけるようになることが課題である。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
1-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題